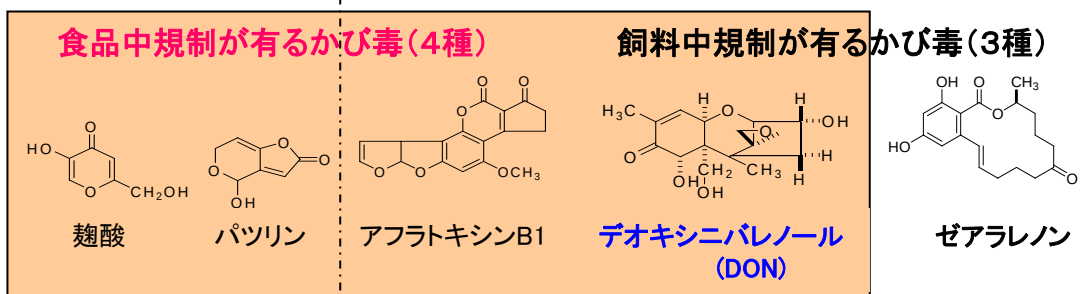
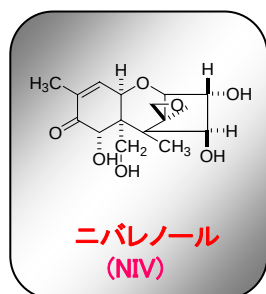


小麦中の赤かび毒素 ー新たに毒性評価がなされたニバレノールー

技術の特徴

・赤かび病に罹った小麦は、トリコテセン系かび毒およびゼアラレノン(ZON)で汚染されていることが多い。トリコテセン系かび毒の一種、**デオキシニバレノール(DON)**については食品(小麦)中暫定基準値が設定されている。

・**ニバレノール(NIV)**は2000-2001年EUで新たに毒性評価がなされた、発癌性が疑われているトリコテセン系かび毒の一種である。**NIV**は、小麦などで**DON**との共汚染が認められているが、ヒトでの実際の摂取量などその実態はほとんど解明されていない。



研究の内容

・小麦赤かび病菌を、実際の小麦に接種した際の発病レベルとかび毒産生量との関連を調査。

・**NIV**の**DON**・ZONとの共汚染ならびに**NIV**の単独汚染が見られた。



品種	用途	DON (ppm)	NIV (ppm)	ZON (ppm)	実験圃場レベル	水分 (%)
農林61号	めん用	3.0/3.4	2.3/2.4	1.6/1.6	高発病率	13.2
トワイズミ	めん用	1.0/0.66	0.35/0.42	0.14/0.082	高発病率	14.5
チクゴイズミ	めん用	0/0	0/0	0/0	極低発病率	13.5
チクゴイズミ	めん用	0/0	0.60/0.51	0/0	低発病率	13.4
チクゴイズミ	めん用	1.7/1.3	0.98/0.80	0.41/0.38	高発病率	15.3
ミナミノカオリ	パン用	0/0	0/0	0/0	極低発病率	13.0
ミナミノカオリ	パン用	0/0	0.73/0.97	0.20/0.18	低発病率	14.1

いずれも実験的に圃場で菌を接種した小麦。

DONは、外部精度管理(FAPAS)を受けた分析法による。

収穫袋より2点取り、1点目/2点目各分析値を表示。回収率、水分含量による補正無し。

今後の展開

小麦中**NIV**および**DON**の、製粉工程およびパン、うどん等の調理工程における減衰について解析する。

